

きっかけをつなぐ旅によう「パスポート」

PASSPORT.

vol. **75**
FREE PAPER
地域の出来事に触れる
ソーシャルマガジン

とくしま市活センター TOKUSHIMA NPO CENTER

徳島市市民活力開発センターとは？

徳島市市民活力開発センター（市活センター）ではNPO活動の支援、行政との協働事業を推進するための拠点として、徳島市や周辺の11市町村（徳島東部地域定住自立圏）に活動の場を持つNPO団体へさまざまなサポートを行っています。指定管理者として、認定特定非営利活動法人新町川を守る会が運営しています。

開館日

火～土曜日 10:00～21:00 / 日曜・祝日 10:00～18:00

休館日

月曜日※月曜日が祝日にあたる場合はその翌日
年末年始・お盆

連絡先

[TEL] 088-611-3886
[FAX] 088-624-3860
[mail] nposhimin@fm.nmt.ne.jp
[H P] www.tokushima-shikatsu.com

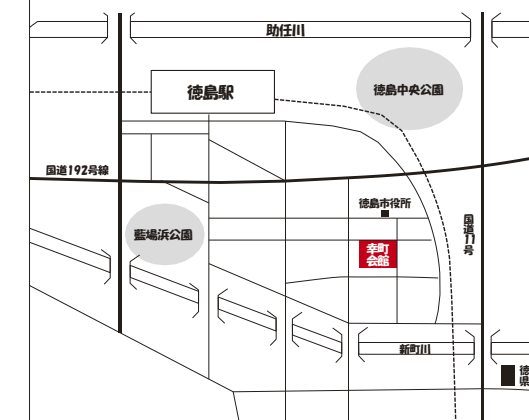
H P



Facebook



ACCESS MAP



所在地

〒770-0847 徳島市幸町3-71-1 幸町会館1階

お車でお越しの方

当センターの駐車場（1台分）もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。

バイク・自転車でお越しの方

センター東側の駐車場をご利用ください。

NPO法人自然スクルトエック



徳島県肢体不自由児者父母の会連合会



とくしま市活センター

PASSPORT.

発行月：2020年10月 号数：75号 発行：徳島市市民活力開発センター
この広報誌に関するご意見、ご感想は、発行元である徳島市市民活力開発センター（088-611-3886）までご連絡下さい。

イベント情報大募集！

PASSPORT.への掲載や、メールマガジンでの配信、徳島市市民活力開発センターの掲示板へ配置させていただく情報を随時募集しております。「取材に来てほしい!」「こんなイベントするよ!」といったお声をお待ちしております!





ありのままを受け入れる 子どもの特性を伸ばす教育とは？

固定概念に
捉われない
「自由な学校」

「NPO法人自然スクールトエックで育つ子どもたちは自己肯定感が高く、生きる力がしっかりと育まれている」という話をよく聞きます。そんなトエックが今回「ラジオ配信」を始めるというところで、取材に駆けつけました。

ボートをしています。主に無認可の幼稚園や小学校、キャンプを運営しています。

小学校では、すべて学校に教育を任せるのではなく、親御さんと一緒に学校をつくっていくようにしています。子育ての問題が生じたときには、じゃあ、どうする？」とみんなで話し合う場を設け、親御さんにも寄り添うやりかたをとっているそうです。

体験から学ぶ

そんな小学校では、9年間創意工夫や試行錯誤ばかりだといえます。釣りをしたいという子には、大人が全部セットした釣竿を渡すのではなく、木の棒や糸、えさなどを「これがいかな」と自分で組み合わせて釣りをするというやり方をしています。魚を見せてくれた男の子も、釣りをするために餌となるミミズを自分で捕まえていたよつでこつやつて知識だけで学んだ教育じゃなくて、体験をもっているのので、めっちゃくちや応用がきますね」と体験することを大切にしている渡辺さんの想いがつかえました。

自分をまるごと

ここで育つ子どもたちは総じて創造的な学びの面白さ、喜びを知っているので公立の中学へすすんでも一般の子どもたちより勉強・学習に対して、否定的ではない子が多いそうです。勝っているから強いから、という優越感に基づいた自信じゃなく、自分のいいところもそうでないところもそのまま、まるごと受け入れて、「こんな僕が好きやな」という自己肯定感のある子が育っていますね」といった渡辺さんの言葉がとても印象的でした。

“人を育てる、ということに手を抜かない渡辺さんの想いは、30数年変わらないまま。トエックで大事にしている、子どもをほめたりしかったりしてしつめるのではなく、子どもの特性を伸ばす教育が、今後さらに広まっていきたいと思います。”



生き生きとした空間

辺り一面に広がる田んぼ、細い田舎道、その先に見えてきた大きな木の門の中には、風情ある古民家がふたつ並んでいます。その古民家の庭では、小学生くらいの男の子が屈んでござをどこかをしている様子。ミミズとれた？」元気な声で男の子に声をかけたのは『NPO法人自然スクールトエック』の渡辺さん。魚とったよ！」「こんくらいの大きさー」と、その男の子が両手を肩幅くらいに広げ、水が張った発泡スチロールの中に入っていた大きな魚を見せてくれました。気がつく、私たちの後ろには、芝生の上で犬が走り回っていて、よく見ると蝶々を追いかけて駆けまわったり、ジャンプしたり。生き生きとした空間、なんということはないその自然な在り様を見ていると、どこからか元気が湧いてきました。

トエックとは

渡辺さんに案内されて、トエックの事務所がある古民家の中へ。縁側から和室に入ると、お茶を入れてくださいました。この晩茶はここ（トエックで、一から作ったものなんですよトエック』は、自然や人との触れ合いを通し、誰もがのびやかに自分になってゆく「育ちあう場づくり」のサ

トエックらじお配信開始！



トエックらじおは、11月頃～月2回（500円/月）の配信予定。代表の伊勢達郎さんとスタッフの仲本桂子さんの対談の後、一般募集の質問コーナーに答える内容がメインです。トエック代表の伊勢さんが「森のようちえん全国交流フォーラム」の講演会に講師として参加したときの出来事。毎回、講演終わりに、伊勢さんの前に長蛇の列をつくって、たくさんの質問があるそうです。全国で、子どもたちの主体性を育む取り組みや共感を大切にしている方たちのユニークな質問は、本当に具体的で、切実です。それに答えることに面白さと貢献感を感じていたようです。このようにトエックで培った現場でのやりとりやノウハウを各地のみなさんにお届することで、子どもを取り巻く大人たちのお役にたてることができないか、と思いラジオ配信を始めました。教育や子育て、多様な「？」をお待ちしているとのことですので、みなさんの質問をぜひお寄せください！詳細はトエックウェブサイトをご覧ください。

INFORMATION

NPO法人 自然スクールトエック

1985年に設立。人や自然との関わりを通して学ぶ自由な学校。ようちえんや小学校、キャンプの他、様々なワークショップもしている。また、徳島県内の大学1・2年生対象に、キャンプのサポートをするボランティアを募集している。自然の中で、親も子どものびやかな自分になる取り組みをしている。

【住所】
〒774-0043
阿南市柳島町高川原6

【電話番号】
0884-24-9201

H P





途絶えさせたくない！ 強き想いが紡いだ新たな可能性

進化する バリフリ BOX

『障がい児者のためのモノと遊びの広場』をコンセプトに毎年開催されてきた「バリフリBOX」。今年は新型コロナウイルスの感染拡大につきイベントの開催が危ぶまれていました。感染拡大が納まらない現状の中、主催者である『徳島県肢体不自由児者父母の会連合会』は新たな挑戦へと踏み出しました。

ういった、圓井さんらしい、姿勢が多く方からの協力を集めたのだと思います。「知り合えた方々とのつながりを大事にしてイベントに限らず普段の生活に求めるものは何かを伝えていきたい」。そう言った圓井さんは、元気で明るい雰囲気を持つ素敵な方でした。みなさんは是非「バリフリBOX」に参加してみてください！

れこそ世界中の人と繋がれるわけじゃないです。だから今までのバリフリ以上にいろんな人に知ってもらえる機会にもなるかもしれないし、やあいい企画だったなあ」とみんなが言ってくれるようなものにできたらなあと思っています。それに来年会場でももしかしたらZOOMでセミナーをする必要があるかもしれないし、オンラインで中継したりというような発展もあるかと思ったら、今年の企画も今年限りのものではなくて、今後にも役立つかなという気がしますね。」とZOOMでの開催をポジティブにとらえていました。

圓井さんらしいさ

毎年「バリフリBOX」開催にあたって、たくさんの方からの協力があります。「いろんな関係者が参加してくれて一緒に考えたり、企画を担当してくれたりって、いうことが一番うれしいことかな」と圓井さんは言います。

「やっぱり何事も一人でできることってないし、会の仲間が一生懸命やってくれるし、そういう仲間がおるからできるし、楽しいし、やり遂げられたらまたもうちょっと頑張ろうかなっていう気持ちにもなる。」と言葉を続けていました。

仲間や関係者とのつながりを大切にし、諦めない気持ちと前向きな考え方をもち、



YouTubeで配信！

「バリフリBOX」の詳細をYouTubeでも配信しています。「バリフリBOX」の協力者の一人である『徳島赤十字ひのみね総合療育センター』の稲垣さんと圓井さんの2人が「バリフリBOX」を語ります。ぜひご覧ください！

YouTube



バリフリBOX

今年で第5回を迎える「バリフリBOX」。開催日は11月22日(日)。様々な最新機器の情報や魅力的な講師陣によるお話を、まるでライブのような感覚で楽しむことができます！障がいの有無に関わらず、ぜひ気軽に参加してみてください！！

INFORMATION

徳島県肢体不自由児者 父母の会連合会

会長は圓井美貴子さん。障がい児者と共に生きる社会を目指し、情報を交換できる場として、講演会やイベント、相談などに取り組んでいます。みんなが生き生きと過ごせるように、学校や社会への願いを、中央関係機関に届けています。

〔住所〕
〒773-0031
小松島市和田島町松田新田305-11

〔電話番号〕
088-644-0267

H P



音楽サークル 「ミックスジュース」

障がいのある子どもたちが主体的に参加できる方法を取り入れて、様々なイベントで演奏を発表しています！

Facebook



まるいラボ

重度心身障がいをもつ娘のために制作した携帯用移動介護補助具が思わぬ反響を呼び、商品化。現在は「まるいラボ」を設立し、障がいのある子どもたちのための便利グッズをおい海道から沖縄まで全国に届けられています。

H P



込められた強い想い

「諦めたくない開催を断念したくない」『徳島県肢体不自由児者父母の会連合会』会長である圓井美貴子さんのこの言葉が、とても印象的でした。コロナの影響の中、次々とイベントが中止・延期されています。それでも「バリフリBOX」の開催を諦めなかったという圓井さん。バリフリBOXを開催する目的は、会員同士ひいては企画を通して仲間のつながりの継続のためでもあるといいます。そんな想いで方法を模索し続ける中、会の活動にいつも協力してくれている文理大学の先生から「ZOOMを用いたオンラインイベントにしてはどうか？」との提案がありました。

Zoomに挑戦

ZOOMでの開催を決めたものの、初めの妨げは不安。開催できる圓井さん。会の仲間たちも同じで、中止や延期が望まれている中、中にはいくらか時間を要したそうです。けど、いざやってみたらみんな楽しそうだったりするんですね！笑」と今では仲間たちと楽しく便利に使えていることを嬉しそうに話してくれました。

「オンラインにしたら全国どこからでもそ

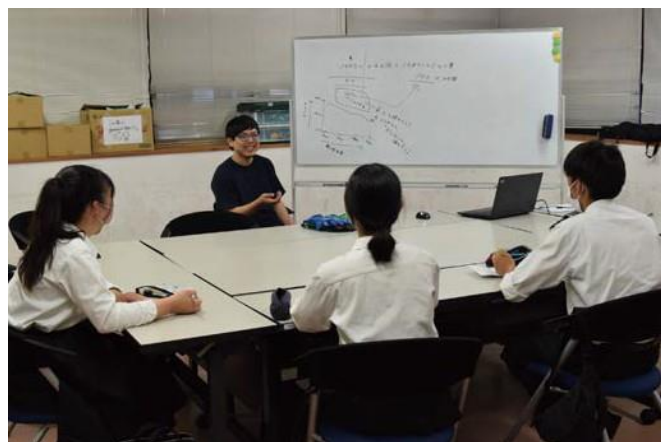
NEWS



↑今回の講座は大人気で、申し訳ないことに定員超過でご参加いただけない団体さんも…。ぜひ今後の講座を楽しみにお待ちください！もちろん、個別相談も承っております！

NEWS 01 YouTube講座の開催

令和2年9月5日(土)、徳島市市民活力開発センターにてYouTubeの活用方法をレクチャーする講座を開催。講座内容として、YouTubeの使用方法、SNSとの連携方法、動画広報の有効性についてレクチャーしました。参加者からは「理解しやすかった」「動画制作にチャレンジしたい」という声が挙がった一方SNSの良い運用の仕方を知りたい」というご意見が。ぜひ今後の講座のテーマとして参考にさせていただきます。



↑SDGsについてや、お盆期間中に生じている「ゴミに関する問題」を中心に話をさせていただきました。真剣に話を聞いてくれます。

NEWS 02 高校生に研修！

センターへかかってきた一本の電話SDGsのことでお話を聞かせてほしい。」と、電話のお相手は城北高校の生徒さんでした。何でも、学校の総合学習の取り組みで「SDGs」をテーマに調査をしており、お盆期間に阿波踊り会場でおこなっているごみの分別・回収活動について興味を持ってくれたそうです。とても緊張した面持ちでセンターへと訪問してくれましたが、みんな熱心で真面目な子たちでした！またいつでも、センターへお立ち寄りくださいね♪

PASSPORT. 制作への挑戦！

今回、インターン生の吉岡さんには『PASSPORT.』の製作へチャレンジしてもらいました。初めての広報誌作り、制作を通して感じたことや、難しかったこと、この紙面に込められた想いに迫ります。



〇 PASSPORT の製作を担当することになったときの心境は？
嬉しかったです。高校生のときに一度このPASSPORTの取材を見学させていただいたことがあってそのときからこういう仕事、文章を通して伝える、仕事をやってみたいと思っていました。でも同時にすごく不安な気持ちもあって相手がどんな方かも分からないし、いざ制作をするってなっても何から始めたらいいのかわからないし本当に自分にできるのかどうか不安でした。

〇 初めての作品 今のお気持ちを教えてくださいませんか？
この冊子を手にとってくださった方にイベントの内容はもちろん取材にご協力いただいたお一人の人の想いもしっかりと伝わってほしいです。また次にこのような機会をいただけたときにはもっと良いものが作れるようにこれから勉強していきますので、引き続きよろしくお願いします
!!

〇 文章を書くにあたって難しかったことはありますか？
「全部書きたかった！」というのが正直な感想で(笑)伺ったお話が本当に素敵だったので、簡潔にまとめるのが難しかったです。また最初は聞いたお話をそのまま文章にしただけになってしまっただけで、伝わる文章、になるのかも非常に悩ましく思いました。

〇 実際に取材をしてみた感想は？
圓井さんも渡辺さんも明るく話しかけてくださって話を聞いていくうちに不安よりも楽しみがどんどん増えていきました。この人たちのこと活動のことをしっかりと伝えられるように頑張ろうって思いました。



KEY PERSON

Mikoto Yoshioka

Q&A

新米記者に聞く！
初めての広報誌に
込められた想い

吉岡美琴

2020年4月から、徳島市市民活力開発センターの長期インターン生としてボランティア体験講座の運営や、広報事業に関する業務を担当している。高校時代からセンターを通してボランティア活動に従事しており、「地域に携わる仕事を学びたい」ということで大学進学を機にセンターへのインターン希望した。